紫波ネット2000

「わが町を知る」
「わが近隣を知る」
「わが将来を知る」ための総合広報

4月号
No.549

発行／岩手県紫波町編集／企画課

今月のピックアップ

さらに前進！平成十二年度の町はこうなる！



MY MESSAGE
私からのメッセージ

伊達公子さんから キッズ・テニスにかける夢

スポーツの世界では、よく「雪国のハンディ」ということが言われますが、デメリットだけではないと思うんです。スキー、スケート…東京を含め南の地域ではできないスポーツが逆に言えばできるわけですから。

夕べも湯楽々に宿泊させてもらいましたが、良い温泉もあるし、車で少し走ればスキー場もあるし、子どもたちも元気でステキな場所だなという印象ですね。

今回はテニスが初めてという子どもが多かったようですが、テニスに限らず何でもチャレンジできる環境を整えてあげてほしいですね。

だれにでも色々な可能性があるわけですし、それを伸ばすチャンスを与えてほしい―それを伝えて行きたいんです。

（二月二十六日 サン・ビレッジ紫波）

今月の
ToPics
トピックス

平成12年度
町政・予算・人事
全公開

POINT.❶
皆さんの声を町づくりに
町内33カ所で地域座談会

POINT.❷
有機資源循環型社会の構築
町民参加でリサイクル運動

POINT.❸
子育て支援センターの設置と
就学前の子どもの医療費を無料に

POINT.❹
高齢者福祉の向上
新たな介護支援の施設を建設

POINT.❺
町の世界的財産、あらえびすの
収蔵SPレコードをCD化

予算など平成12年度の町の方向を決める町議会３月定例会が、３月７日から24日までの会期で開かれました。議会初日には藤原町長が所信を表明し、町政運営の考え方や主な施策について述べました。ここではその要旨と平成12年度予算のあらましをお伝えします。

さらに前進！
平成12年度の町は こうなる！

地方分権の到来とともに、新たな視点の行政改革が求められる時代となりました。こうした厳しい状況の中、自治体も企業の経営感覚を導入したコスト意識を持ち、町民の目で行政推進のできる環境を育て、町づくりに取り組む所存です。

平成十二年度に最終年を迎える第三次紫波町総合開発計画は、三つの大きなプロジェクトを掲げ、大きな成果を上げ終了しようとしています。新たな紫波町総合計画は平成十三年度から十七年度までの新たな世紀の指標となるものです。この策定にはできるだけ多くの町民の皆さんに参加していただけるよう、ワークショップによる意見の積み上げ、町内三十三カ所の地域座談会、各種団体との懇談を行います。また小・中学生にも作文で参加してもらい、広く町民の手づくりによる策定を目指しています。

平成十二年が計画策定の年となる有機資源循環型社会の構築は、平成十三年からの事業実施に向けて努力してまいります。有機資源のリサイクルは町民一人ひとりが参加する事業であり、安全な食料確保、農業の持続性と活性化、そして食料自給率を含めた高収益性のため成功に導いてまいります。

さらに今年度は介護保険や地方分権など時代の要請に応えるとともにこれまで建設された施設をより円滑・効果的に運用し、「環境と福祉のまち」にふさわしい年にしたいと考えております。

※具体的な施策については要約し次ページに掲載しました。

新年度の町づくり５つのポイント!!

❶住みよい社会づくりのために

●**自治省事業として小規模集合排水処理施設の導入**（事業のコスト圧縮と促進拡大を図り、平成10年度末で50%供用だったものを平成22年度には100%に）

●**紫波中央駅待合室と駅前整備事業の着工**（駐車場整備）

●**日詰駅前整備**（年次計画で推進）

●**平成12年度環境基本計画、地球温暖化対策推進実行計画の策定**（平成11年度実施の環境調査結果をもとに）

●**畜産汚泥の野積み防止**（農業環境関連法施行と全国的にも注目されている有機資源循環型社会の推進）

●**４月からの高規格救急車の配備**（県内の町村配置第1号）

❷生きがいと喜びのある暮らしをするために

●**古館保育所の定員増と子育て支援センターの機能併設**（定員60人から120人へ）

●**古館小学校を子どもの家として利用**（利用者の増加に伴い２クラスに）

●**敬老金制度の見直し**（一律支給を廃止し節目支給に）

●**就学前の子どもの医療費を無料化**（従来の4歳までの医療費の無料化をさらに前進させる）

●**高齢者生活福祉センターの建設**（15ベッドの施設を「にいやま荘」の隣接地に。佐比内地区には生きがい対応型デイサービス施設を建設。痴ほう対応型グループホームの９ベッド、特別養護老人ホーム「百寿の郷（もずのさと）」と合わせ、一層の施設充実）

●**低所得者層への介護保険料負担の軽減を検討**

❸豊かな人間性を育むために

●**県立紫波高校の存続を要望**（平成14年度の総合学科高校実施の見直しのため）

●**野村胡堂・あらえびす記念館の貴重なレコードをCD化**（長期保存と販売推進）

●**学校給食への地元産品の活用**

●**給食用のポリカーボネート製食器を安全なものに取替**（環境ホルモン対策）

●**環境教育の独自の取り組み**（将来の環境保全のため幼児期からの教育を検討）

❹豊かな暮らしを築くために

●**もち米加工品の推進**（もち米の消費拡大と安定生産のため）

●**食料・農業・農村基本法に基づいた大豆作の振興とブロックローテーションによる作物の団地化**

●**中山間地域などの農業生産活動の不利を補うため直接支払推進事業の推進**

●**農産物の付加価値の向上**（もちつき隊への支援、もち米クッキングスクール、レストランへのもちメニューの支援、町内産小麦でのパン作り教室、同小麦でのパスタ料理の振興、ハム・ソーセージ作り、有機資源循環の推進とPR）

●**商店街の活性化事業の推進と商店街での農産物の販売促進**

●**町オリジナル酵母によるりんご酒とワインの開発**

●**倒産・事業中止による雇用不安解消のための企業への働きかけ**

●**企業誘致の推進**（町の特産品を生かした開発型企業誘致にも配慮）

❺住民に開かれた自治体を目指して

●**情報公開制度のための広聴広報機能の充実**（文書ファイリングシステムと庁舎内LAN導入により素早い対応と事務の合理化）

●**町民の参加を促すためのワークショップなど審議会を開催**

●**アメリカ合衆国、ミシガン州ポーテジ市との民間での交流支援**

●**紫波町総合計画策定のため、６～７月に33カ所で地域座談会開催**



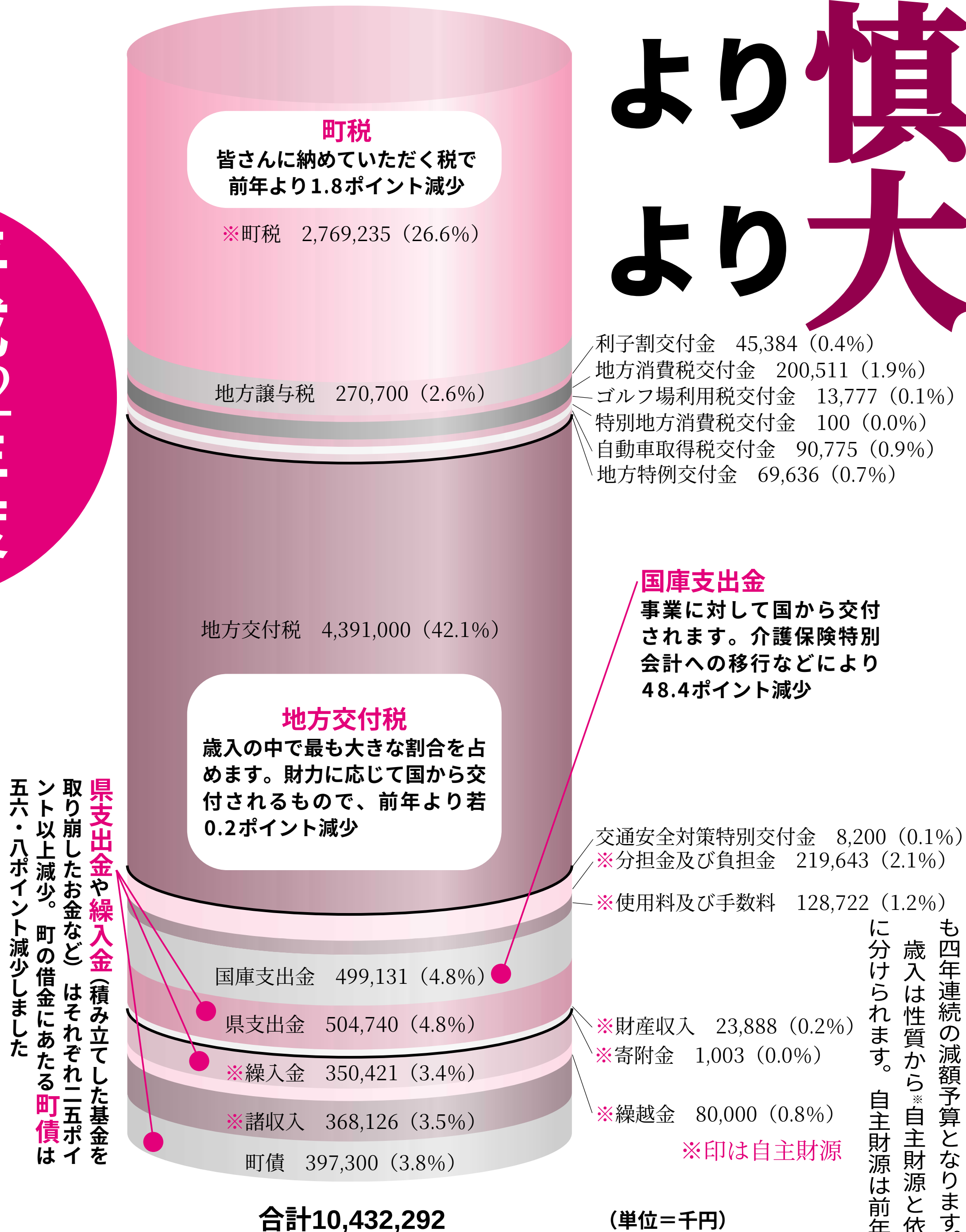
四月からリニューアルした古館保育所



平成12年度

より慎重に より大胆に

町の平成十二年度事業は、一般会計予算のほか新たに介護保険関連を加えた八つの特別会計により行われます。一般会計の総額は一〇四億三三二九万円で、昨年より一四億一五〇万円の減少となりました。限られた財源の中で、町の個性を活かし、皆さんに満足していただけるよう、また恵まれた自然環境を守り後世に残し「環境と福祉のまち」の実現に向け取り組みます。



歳入　自主財源二・三ポイント上昇

町に入ってくるお金、歳入のうち最も大きいのが、財政力に応じて国から割り当てられる地方交付税、次に町税、これらで全体の約七割になりますが、昨年比で大幅に減少しています。また町としても四年連続の減額予算となります。

歳入は性質から※自主財源と依存財源に分けられます。自主財源は前年比二億六四八九万円減の三九億四一〇三万円。同様に依存財源は一一億三六六〇万円減の六四億九一二五万円となっています。町の自主財源比率は三七・八パーセントで昨年より二・三パーセント上昇しています。

> ※**自主財源**とは町民税、固定資産税、施設の使用料や手数料など町独自で用意できるお金をいいます。**依存財源**とは地方交付税や、国や県からの補助金、町の借金ともいえる町債などです。**自主財源の割合が大きいほど自由な財政運営ができるといわれています。**

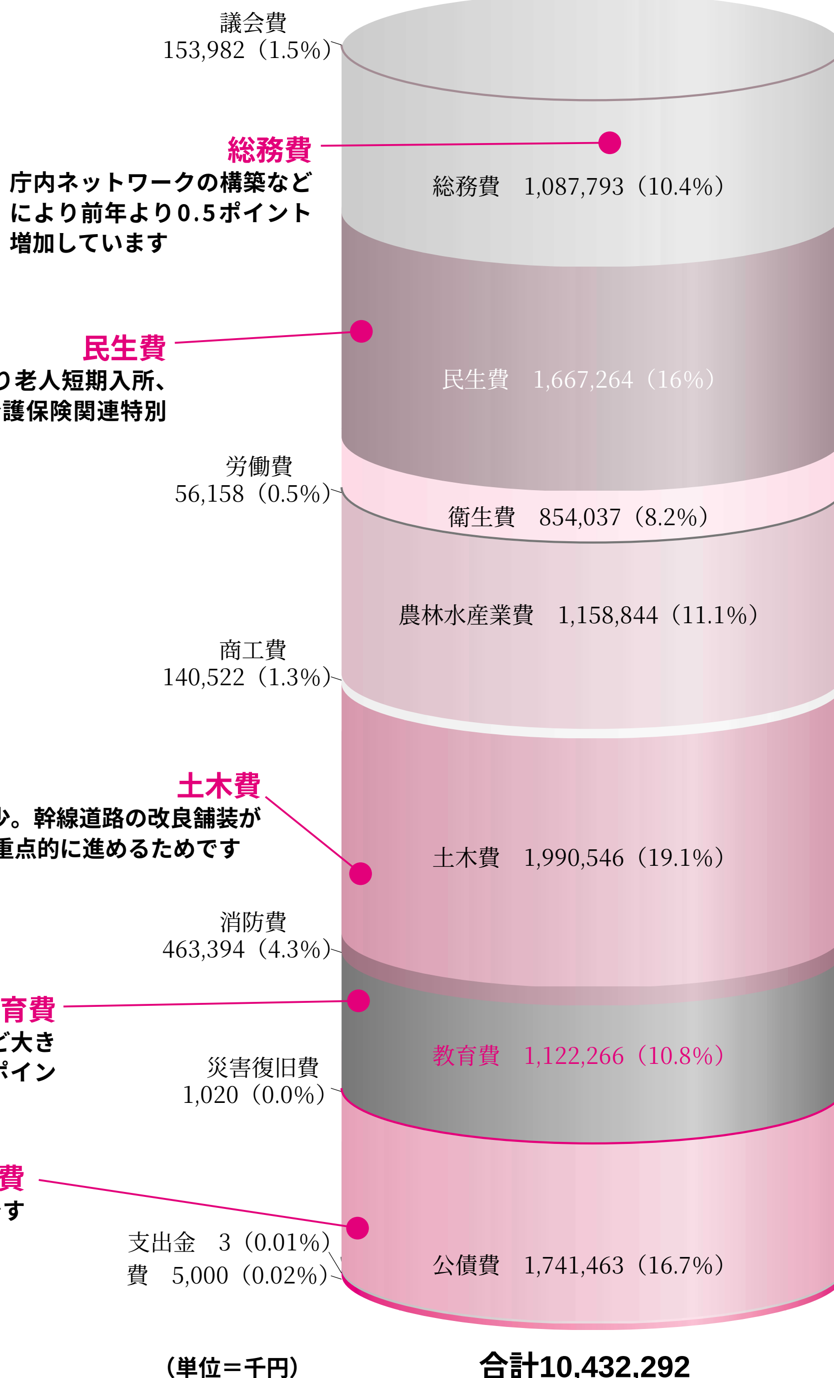
歳出　環境や少子高齢化に重点

歳出は大きい順に土木費、次に公債費、民生費と続いています。土木費、民生費が前年比で減少している一方、公債費は増加。これは大規模建設事業の財源のため、発行してきた多額の町債の元金支払い時期が来たためです。（公債費のピークは平成十六年度まで続く見込み）

十二年度の主要事業としては、情報公開などに対応した庁内ネットワークと文書ファイリングシステムの構築、生活交通基盤の整備や紫波中央駅待合所や駅前広場の整備などです。また有機資源循環「えこ3ぷらん」推進事業、新築された古館保育所に新たに設置された「子育て支援センター」の機能充実など、環境保全や少子高齢化に対応した福祉の充実に積極的に予算を計上しています。



の予算決定



特別会計予算

平成12年度の特別会計予算を右に示しています。

介護保険制度の実施に伴い、「介護保険事業」と「介護サービス事業」の2つが加わりました。

会　計　名		予算額	増減
紫波公共下水道事業		15億4,119万円	6.0%
農業集落排水事業		10億8,236万円	1.3%
国民健康保険事業		20億5,847万円	-3.2%
老人保健事業		28億6,145万円	-13.6%
介護保険事業		13億4,027万円	—
介護サービス事業		971万円	—
日詰西地区土地取得事業		2,139万円	-37.8%
水道事業	収益的支出	6億3,288万円	-1.7%
	資本的支出	5億223万円	3.2%

各課の課長に質問！ 12年度の仕事は何ですか？

重要施策の紹介と人事異動のお知らせ

今月のTOPics トピックス
町政・予算・人事
平成12年度 全公開

平成12年度の各課の担当する事業と人員が決定しました。今回異動した職員は課長級15人、課長補佐級19人をはじめとする117人。皆さんに知っておいていただきたい仕事とともに人事異動、さらに各課長からの決意表明をご紹介します。

わが課のポイント【総務課】

効率的な行財政運営、地方分権への取組み、開かれた行政を目指す情報公開制度の施行など事務は山積。適時適打を念頭に粉骨砕身挑戦していきます。

課長　中田興治

総務課

●条例・規則の制定●行政区長関係●町民憲章の推進●建設工事の入札・契約●職員の採用・研修●叙位・叙勲●秘書用務●町の予算・基金・財政計画関係●財政事情の公表●行政改革の推進●電算業務関係●事務のOA化●情報公開●町の財産の取得・管理・処分●庁舎・公用車の管理●字の区域・名称の変更など

選挙管理委員会

●選挙の執行●永久選挙人名簿の調製●明るい選挙の推進●検察審査員関係

◆異動した職員　課長=中田興治／課長補佐=細川久／照井崇　根水利実

わが課のポイント【企画課】

今年は、町の基本計画づくりの年。できるだけ多くの皆さんに参加していただき練り上げます。早く、しかも安くできる行政の基盤づくりを目指します。

課長　作山修

企画課

●町の総合計画策定●公聴・広報●統計調査●地域づくり推進●商工業の振興●雇用促進●観光開発●交流事業の推進●資源循環計画の推進など

◆異動した職員　課長補佐=細川敏幸／主査=藤滝学／鎌田千市

わが課のポイント【税務課】

今年度から新たに、介護保険料も担当します。町政の円滑な運営のため必要な税負担などにご理解くださるようお願いします。

課長　高橋栄悦

税務課

●町県民税、固定資産税、軽自動車税など普通税の課税、収納事務●入湯税、国民健康保険税など目的税の課税、収納事務●町県民税・所得税の申告相談●税務証明・閲覧などの事務●納税意識の普及促進など

◆異動した職員　課長補佐=菅原善憲　／納税係長=高橋元義／武田正紀　高橋寿　中島芳久　小川裕子

町民課

窓口
●住民票、戸籍に関する証明●住民票異動、戸籍の異動届出と処理●印鑑の登録証明●その他窓口サービスなど

年金
●国民年金・福祉年金の手続●老齢基礎年金の受給手続など

国保
●就学前児童、妊産婦、障害者などへの医療費助成●一般被保険者療養給付●退職被保険者療養給付●一般被保険者介護納付金●老人保健の医療給付

◆異動した職員　課長＝橋本幸一／課長補佐兼窓口係長＝堀内憲一／小野昭夫　佐々木良一　佐藤晋

わが課のポイント【町民課】
誰もが安心して来庁できるよう全員が笑顔で温かいサービスを心がけています。住民異動、年金、国保などについてお気軽にご相談ください。
課長　橋本幸一

長寿健康課

●母子保健●成人保健●寝たきり予防●各種予防検診●すこやか号運行●献血●自立支援（訪問理美容サービス・配食サービス・外出支援など）●生活支援と生きがい対策●ボランティアの育成●老人クラブの育成●敬老金●介護予防拠点施設の整備●在宅介護支援センター運営●介護保険関連など

◆異動した職員　課長＝高橋恒行　／主幹＝中村利隆／課長補佐＝佐藤好雄／副主幹＝細川郁子／長寿社会係長＝鱒沢久年／矢巾町研修派遣＝野村直子／菊池由紀（矢巾町）　千葉広幸　高橋悦子
在宅介護支援センター　副主幹＝野邊地真子

わが課のポイント【長寿健康課】
介護保険制度の円滑な遂行と、日々健康で過ごせるよう乳幼児期からの食生活を中心とした取り組みに重点をおいて業務を展開します。
課長　高橋恒行

生活環境課

●環境の保全●公害対策●犬の登録●鳥獣保護●町の防災計画●消防団と広域消防●交通安全●防犯●民生児童委員●障害者、母子、児童の福祉●生活保護●保育所、児童館の入所など

◆異動した職員　課長＝八重嶋雄光／課長補佐兼福祉係長＝森田順子　課長補佐兼環境保全係長＝松崎勝見／消防安全係長＝小田中悦郎／紫波・稗貫衛生処理組合研修派遣＝小田中栄一／主査＝佐々木銀一　作山孝洋　藤林隆博（岩手県警察本部警務課）／藤尾絹子
中央保育所　関泰子　佐藤淳子　**古館保育所**　所長＝小笠原久子／主査＝中村祐子／水沢晶子　清水千里　橋本智恵子　瀬川悦子　松田由紀子　佐々木絵里子　**志和保育所**　所長＝山本章子／巻藤由起子　高橋恵美　**片寄保育所**　中島みさお　**佐比内保育所**　所長＝鷹木るり子／　村上いく子　藤原美奈子　**水分児童館**　館長兼長岡児童館長＝藤原秀夫

わが課のポイント【生活環境課】
生活環境課は、環境保全、消防安全、福祉の三つの係で構成されています。「安全・安心・満足」を目指し、今年も頑張ります。
課長　八重嶋雄光

土木課

●町道・河川の改良舗装・維持管理●除雪●砂防・治水事業●災害復旧●土木事業の用地取得・補償・登記●街路灯●国土調査事業など

◆異動した職員　庶務係長＝阿部淳一／主査＝堀内由美子／高田浩一　高橋哲也

わが課のポイント【土木課】
道路は利用する皆さんの共有財産です。当課では町道の改良や維持補修に奮闘しておりますが、草刈やゴミ拾いなど皆さんのご協力もお願いいたします。
課長　鷹觜修司

農林課

●中山間地域等の振興●国営かんがい排水事業への負担●道の駅・峠の駅の管理●果樹の苗木・花きや野菜のパイプ支柱、畔塗機などへの補助●簡易ビニールハウス、ぶどう棚整備、もみ殻暗渠などへの補助●県営ほ場整備事業●保留や導入助成による畜産振興●畜産流通センターへの出資●林道の整備と維持管理など

◆異動した職員　課長補佐兼畜産林業係長＝花篭博文　課長補佐＝高石洋行（農林水産省）／農村整備係長＝高橋昭博／主査＝佐藤明子（岩手県）／岩手県研修派遣＝中田秀男　松村寿弘　藤原慎也／農林水産省研修派遣＝赤川勉

都市計画課

●紫波都市計画マスタープラン改訂●紫波中央駅周辺整備／駅待合所の建設●日詰駅前地区整備計画策定●街路整備／東裏中新田線横断歩道橋架替●第二希望ヶ丘住宅の排水路整備●朝日ヶ丘北住宅の建設●公営住宅の管理●公園施設の管理

◆異動した職員　課長補佐兼計画係長＝山下研悦／古内広貴　高田美保

下水道課

●合併処理浄化槽設置補助●紫波公共下水道事業（管路施設整備・施設管理）●農業集落排水事業（長岡南、片寄地区処理場整備、管路施設整備）、施設管理（山王海地区、水分地区、大巻地区）など

◆異動した職員　課長＝杉浦正治／課長補佐兼施設係長＝中里和雄／谷地恵美子　柳澤徹　小川篤

浄化センター　中村雅彦

会計課

●現金・物品の出納と保管、現金と財産の記録管理、決算の調整など●有価証券の出納と保管、支出負担行為の確認、収入と支出命令の確認、報酬と給与の源泉徴収票の発行など

◆異動した職員　課長兼出納係長＝大野久／課長補佐兼審査係長＝小田中しづ子／佐藤輝

水道事業所

●第7次拡張事業●石綿セメント管の更新事業●配・給水管の整備●水道使用料に関すること●給水工事の受付に関することなど

◆異動した職員　次長兼施設係長＝巻藤好司／業務係長＝佐藤證／副主幹＝佐藤亮子／羽生広則　松岡好和

わが課のポイント【農林課】

農業発展のため、環境条件を活かした生産性の高い農業を目指します。また有機資源の活用で安全と安心が付加される農畜産物の生産事業を展開します。

課長　武田良憲

わが課のポイント【都市計画課】

今年度は地方分権により大きく変わった都市計画行政の初年度となります。豊かな田園都市を目指し、住み良い町づくりを進めます。

課長　本舘静夫

わが課のポイント【下水道課】

住み良い生活環境のため、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の普及に努めます。整備促進に、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

課長　杉浦正治

わが課のポイント【会計課】

今年度も公金の適正な管理運用と迅速な支払いに努めていきます。

課長　大野久

わが課のポイント【水道事業所】

町民の皆さんに安全な水を安定的に供給するため、日夜努力しています。

所長　阿部久作

新採用職員

（写真右から）
税務課＝中島芳久　農林課＝藤原慎也　土木課＝高橋哲也　長寿健康課＝高橋悦子　税務課＝小川裕子

各課の課長に質問！ 12年度の仕事はなんですか？

重要施策の紹介と人事異動のお知らせ



わが課のポイント【総務学事課】

来る21世紀を生きる、心身ともに健康でたくましく創造性豊かで社会の変化に主体的に対応できる能力と、国際的視野をもった人間育成を目指します。

課長　七木田明

総務学事課

●教育研究所運営●スクールカウンセラー活用調査研究事業●豊かな心をはぐくむ教育推進事業●心の教育相談員設置事業●ポーテジ市との国際交流事業●学校図書館データ電子化業務、学校図書館開放●心身障害児就学指導事業●学校教育施設の建設と管理●学校給食業務など

◆異動した職員　課長＝七木田明／課長補佐＝坂本安法／庶務係長＝多田薫／八重嶋志保

赤石小学校　阿部植夫　**星山小学校**　南舘佐藤克生　**彦部小学校**　佐藤淳安夫　**紫波第一中学校**



わが課のポイント【社会教育課】

今年度も「豊かな人間性を育む」との教育目標に向い、地域、職場、家庭と連携し、生涯学習、生涯スポーツ・レクリエーションなどの推進を図っていきます。

課長　多田祥一

社会教育課

●生涯学習の推進●社会教育の充実●芸術文化の振興●文化財の保存、保護と活用の推進●町民総参加スポーツの推進など

◆異動した職員　課長兼総合体育館長＝多田祥一／課長補佐兼中央公民館長補佐兼公民館係長＝高橋幸雄　課長補佐兼社会体育係長兼総合体育館長補佐兼体育館係長＝熊谷義昭／沼田信一

中央公民館　藤原三重子

勤労青少年ホーム　業務係長＝阿部栄一



わが課のポイント【紫波町議会】

新世紀における分権型社会の創設は、「町民が町を設立する」というコンセプトに支えられます。町民の方々の議会傍聴を歓迎します。

事務局長　佐々木忠

紫波町議会

●本会議の開催●常任委員会の開催●議会運営委員会の開催●特別委員会の設置など

監査委員

●定期監査●決算審査●工事完成現場査察など

◆異動した職員　事務局長兼庶務係長＝佐々木忠／書記＝阿部薫之



わが課のポイント【農業委員会】

生前一括贈与で納税猶予を受けている人や、農業者年金を受給している人は農地の移動に際しては事前に事務局に相談願います。

事務局長　石川喜一

農業委員会

●定例総会の開催●農地農政小委員会の開催●農地の貸借・売買の許可●農地転用の許可（許可権者＝知事）●標準小作料・標準農作業賃金設定●農業者年金委託業務●耕作証明（軽油免税・競売買受適格他）●農地管理開発公社委託業務●後継者関係（結婚相談員）など

◆異動した職員　事務局長＝石川喜一

●人事交流

他の機関からの派遣職員（主査以上）

農林課長補佐＝高石洋行（農林水産省）写真左上

農林課主査＝佐藤明子（岩手県）写真左下

生活環境課主査＝藤林隆博（岩手県警察本部）写真右





介護保険のお知らせ

町の保険料は基準月額3,120円

65歳以上の人は特例納付

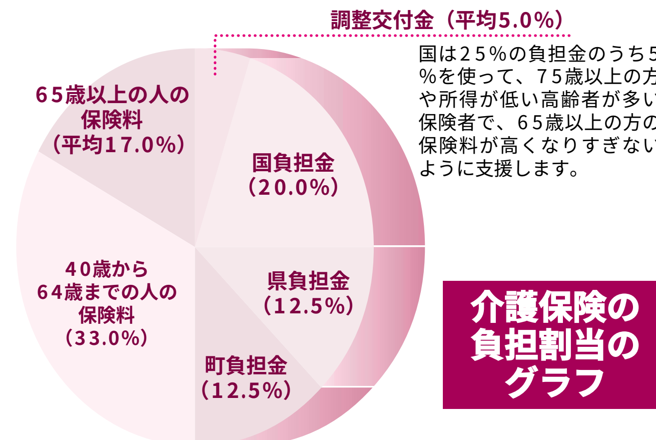
【最初の半年間は納める必要なし 続く1年間は半額を納付】

町の保険料はサービス利用者数と環境で決定

四月からスタートした介護保険制度、わが町の保険料は、月額で三千百二十円に決まりました。ただしこの保険料は、六十五歳以上の人が納める標準的な保険料です。介護保険では、六十五歳以上の人を第一号被保険者と呼んでいますが、ここでは略して「一号被保」と呼びます。

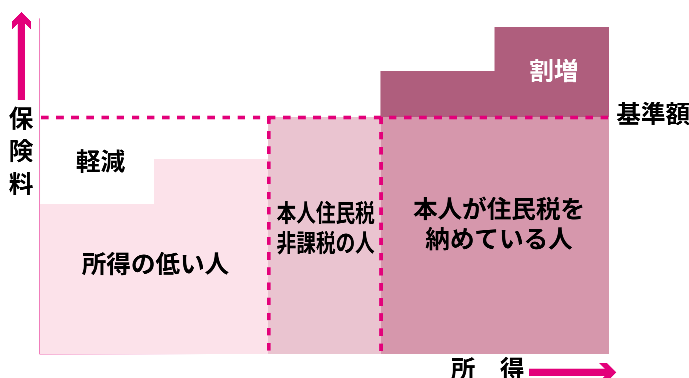
介護保険は、国の制度として全国一斉に始まりました。また各市町村が独自に運営することになりました。そのため一号被保の保険料も各市町村が独自に定めました。そうした場合、皆さんの疑問は、わが町の保険料は果たして高いのか安いのか、ということではないでしょうか。

保険料は、介護保険を通じてサービスを提供するための一つの財源になります。サービスを使う人が多ければたくさんの保険料が必要になります。また使いたいサービスがすぐに使える整った環境があれば、やはりたくさんの保険料が必要になります。このように、サービスを使う人の数、そして使えるサービスの量に比例するのが、保険料です。



また保険料は介護保険を運営する財源でもあります。一号被保の保険料、そして四十歳から六十四歳までの人（第二号被保険者、略して二号被保）が納める保険料を合わせると、財源全体の半分になります。残り半分は国、県、町からの交付金が充てられます。ちな

保険料とその納め方【65歳以上の人（第1号被保険者）の場合】



軽減される人		基準額を支払う人	割増の保険料を支払う人	
生活保護の受給者、老齢福祉年金受給者で住民税世帯非課税	世帯全員が住民税非課税	本人が住民税非課税	本人が住民税課税で合計所得金額二五〇万円未満	本人が住民税課税で合計所得金額二五〇万円以上
基準額×0.5	基準額×0.75	基準額×1	基準額×1.25	基準額×1.5

みに一号被保の保険料は、全体の一七パーセント、二号被保は三三パーセントを占めることになります。

収入に応じた5段階の保険料を納付

一号被保の月額保険料三千百二十円、これは基準額として設定した額です。つまり標準的な収入の人が納める保険料なのです。実際には、十ページ下の表のようにそれぞれの収入に応じた額になります。基準額の半分になる第一段階から基準額の一・五倍の第五段階まで、いずれかの額が納めるべき保険料になります。この五段階は、前年度の課税資料や年金の資料を基に年度ごとに決めることになります。

> ※【介護保険の特例】
>
> **●六ヵ月間は保険料なし** 今年四月から九月までの六ヵ月間は、保険料を納める必要がありません。
>
> **●続く1年間は保険料半額** 今年十月から来年九月までの一年間は、保険料の半額を納めます。

65歳以上には保険料の納付に特例が

最初にお知らせしたとおり、一号被保とは六十五歳以上の皆さんのこと。この皆さんには、四月以降一年半の期間に限り、特例（左上参照）が設けられています。

これは介護保険をゆるやかに導入するために厚生省が用意した制度で、最初の六ヵ月間そしてその後の一年間だけに適用されるものです。

介護保険制度そのものは四月一日から始まっていますので、必要な人にはサービスが提供されています。そのために必要なお金は、すべて国から納められることになっています。

状況に応じたそれぞれの納付方法で

保険料を納める方法は、一号被保と二号被保とで異なります。

第1号被保険者

六十五歳以上の人は、老齢年金や退職年金から天引きされることが基本になります。年金の額が月額一万五千円（二ヵ月で三万円、年額で十八万円）以上にならない人には、町から届く納付書で納めることになります。

第2号被保険者

四十～六十四歳までの人は第二号被保険者と呼ばれますが、この皆さんは、介護保険料を医療保険の保険料と一緒に納めることになります。

会社などに勤めている人は、あらかじめ給料から天引きされることになります。

国民健康保険に加入している人には、国民健康保険と介護保険が一つになった納付書が届きます。

以上、保険料と納付についてお知らせしましたが、介護保険について分からない点や心配な点などは、お気軽に相談してください。介護保険相談窓口で皆さんをお待ちしています。

介護保険相談窓口
（町保健センター内長寿健康課☎672-4522、有線01-8974）

保険料とその納め方【40歳～64歳の人（第2号被保険者）の場合】





【保険料】計算の仕方や額は、加入している医療保険によって異なります

健康保険・共済組合に加入している場合	健康保険・共済組合に加入している場合
●保険料は給料に応じて異なります ●保険料の半分は事業主が負担します ●サラリーマンの妻などの被扶養者の分は加入している医療保険の被保険者が皆で負担するので新たに保険料を納める必要はありません	●保険料は所得や資産に応じて異なります ●保険料と同額の国庫負担があります ●世帯主が、世帯員の分も負担します

多彩なゲストが全国から大集合
町民みんなで成功させましょう

今と未来の環境のこと。

日本中へ、未来へ紫波町のすばらしさを発信――ＮＨＫと協力により、ついに実現します。

町では環境月間となる６月に多くのゲストを迎えた各種環境イベントを行います。しかもその模様はＮＨＫ-ＢＳにより全国に放送が予定されています。藤原町長と環境シンポジウム以来親交のあるＣ．Ｗ．ニコルさんや、同志社大学教授・郡嶌(ぐんじま)孝さん、さらに増田県知事ほか町内の皆さんにも参加していただき、県内はもちろん、全国的にも例のない町をあげての環境イベントを開催します。

イベント内容（一部仮案）

６月３日（土）
～地球からのメッセージ～
【環境フォーラム】循環100年プラン

午後1：00～5：00（サン・ビレッジ紫波）

私たちのチャレンジⅠ・Ⅱ
全体進行：横山義恭(よしやす)氏（NHKエグゼクティブアナウンサー）
まちづくり・環境づくりに取り組む「霞ヶ浦・北浦をよくする市民連絡会議」や東京都大田区、神奈川県開成町からの招待客と町民の皆さんが交流しながら意見交換を行います。

【パネルディスカッション】地域からの発信
21世紀の循環型まちづくりを目指して
パネリスト（出演予定者）
郡嶌孝（同志社大学経済学部教授）／渋澤寿一（環境NPO「聚」樹木・環境ネットワーク協会専務理事）／小苅米淳一（全日本スーパーマーケット協会岩手県会長）／里中満智子（漫画家）／藤原町長

懇親会
日本酒の利き酒、紫波ひめ隊のもちつきほかイベント多数

６月４日（日）
紫波の自然に学ぼう　環境と生命を考える

動植物のための植栽
アカマツと雑木林の15haの敷地へ花木を植栽（100～200本あまりを予定）

紫波町探検隊
地元の農家の皆さんや自然愛好家とともに、町内を探検しましょう

フィナーレ
音楽家（未定）によるコンサートや町民参加による未来宣言

６月２日（金）～オープニング・プログラム～
「環境トーク――環境と福祉のまちづくりをめざして」
出席者：C.W.ニコル氏、増田県知事、藤原町長

えこ3ぷらんnews

有機資源循環計画 たい肥化試験を実施中

有機資源循環推進計画の中核として建設予定のたい肥化施設「えこ3ぷらんセンター（仮称）」整備のため二月四日からたい肥化試験を行っています。場所は畠山善信さん(片寄)の施設を一時的に借用し、さまざまなデータを収集しています。

今回投入の資材は豚、鶏の糞、し尿や下水の汚泥など七種類、約八トンを使用し、混合を変えた二系統で進めています。発酵温度の推移、臭気の度合いの測定のほか、完成たい肥の成分分析も行うことにしています。

既に三回の切り返しを終えており、その都度順調に発酵していますが、汚泥を含んだ系統は、含まない方に比べると発酵具合がやや劣っている状況になっています。

発酵温度などは現場で確認することができますので、一度ご覧になってください。

たい肥化施設の整備に向けた発酵試験は今後も継続して進めることにしています。次回は実際の資材の量を想定し、発酵経過、完成たい肥の分析などを進めることにしています。


今後の重要なデータを取るための発酵試験現場。冬場の寒い時期には発酵による温度上昇でたい肥から湯気が上がっていました

話そう、

環境月間イベント開催決定　6月2日（金）～4日（日）

『環境の世紀へ向けて』

※詳しいイベント内容、日程・時間などは紫波ネットやお知らせ版でお知らせします

手間と工夫を凝らす――これが食物をむだにしないことなんだ

●C.W.ニコル氏

小説家。長野県の黒姫山に住み、環境にやさしい生活を実践。環境エコロジーでは藤原町長と意気投合し、今回の参加となった。

お仕事中おじゃましま〜す

話題の介護保険の要 ホームヘルパーに密着取材

四月から介護保険制度がスタート。介護サービスがいよいよ実施となりました。ニュース、新聞もこの話題で持ちきりです。民間企業、公共期間、ＪＡなど数多くの介護サービス事業所が急増する中、テレビでも頻繁にコマーシャルを見かけるようになりました。その最前線で活躍するのがホームヘルパーです。今回から始まる世間のお仕事におじゃまするコーナーのトップは、そのホームヘルパーに密着してみました。



【午前5:45】
１軒目の訪問先へ
杉浦美絵さんはヘルパー歴3年。本日巡回する訪問先を確認した後、指定訪問介護事業所の専用車に乗り1件目の訪問先へ向かう。



【午前7:05】
4軒目でオムツ交換
オムツを交換後、好物のりんごジュースを飲んでもらう。「おいしかったー、ありがとね」と、おばあさん。この一言で今日も頑張れる。



【午前10：00】
隅から隅までそうじ
佐々木美千代さんはヘルパー歴６年。家中をくまなく掃除。週に１度訪問するヘルパーさんと会うのが、一番の楽しみというおばあさん。



【午前10：50】
買い物と銀行へ
山田さい子さんはヘルパー歴11年。家事援助では、買い物、役所などへの用足も行う。必要な品物を買い揃え、直接おばあさんの自宅に届ける。



【今回おじゃました仕事場】
紫波町総合福祉センター
ホームヘルパー室
ヘルパーの仕事は早朝６時からスタート。朝6時からの早番、8時30分からの日勤、午後2時からの遅番と３つのシフトで24時間体制が組まれています。オムツ交換、入浴サービス、家事援助などの巡回スケジュールはびっしり。休む間もなくフル回転です

優しさと、体力、そして何よりテキパキとした機敏性が必要！

最初にお会いしたのがヘルパーの杉浦美絵さん。「今までの信用をなくさないよう、喜んでもらえるように頑張っています。介護保険制度が開始される前はある程度覚悟はしていましたが、実際は予想以上に大変。一ヵ所の介護にあたる時間が限られているため、今まで以上に機敏さが求められるようになりました。でも一番大切なことは、皆さんに喜んでもらうことなんです」。一日、一日少しでも成長し続けたいという杉浦さんも、やっぱり早番の朝はつらいそう。「ヘルパーは車の運転からお年寄りを抱えることまで、何でも一人でこなせないと。仕事は肉体的にも精神的にもハードですが、これから目指す人はぜひ頑張ってください」と力強いエールをいただきました。

介護保険が始まって～町の現状～

紫波町社会福祉議会のホームヘルパー派遣事業は、四月からの介護保険制度の実施に伴い、「紫波町社会福祉協議会指定訪問介護事業所」と名称を変更し、新たなスタートを切りました。現在ホームヘルパー十人と友愛ヘルパー七人、ガイドヘルパー二人の十九人で、家事、介護、介助など、利用者の希望に合わせ、さまざまなサービスを行っています。利用者は約百二十人、うち四月からの新規利用者が十三人、サービス内容の変更が二十二人、また体調の変化による入退院など、利用スケジュールの変更も多くヘルパーやデイサービスなど利用機関への連絡が大変なようです。この三百六十五日休みなしのサービスが多くの人を支えています。



【午前8：55】状況をノートに記録
巡回ノートは、家族とヘルパーとの大切なコミュニケーションツール。その日の状況を記録し、次のヘルパーや医療機関への連絡事項を記載。



【午前8：50】お楽しみの朝食の準備
テレビを見ながら食事をするのが、おじいさんの何よりの楽しみ。無事作業を終えて、気持ちよさそうな笑顔を見てほっとする。



【午前8:30】ハードな車イスへの移動
イチ、ニノ、サンでおじいさんを起こし、ベッドから車椅子に移動する。体力的にもハードな作業で、額にうっすらと汗がにじむ。



【午前8:00】清拭後、食事の準備
6軒目の訪問先。まずは寝たきりのおじいさんをきれいに清拭して、上半身に薬を塗る。かゆいところはないですかと、優しく声をかける。



【午後4：45】夜の訪問に備え準備万端
阿部セイ子さんはヘルパー歴13年。遅番用の準備に余念がない。消毒して温めたタオル、手袋、消毒液、懐中電灯などを揃え、忘れ物がないか点検。



【午後4：15】デイサービスからの帰宅
松崎恵美子さんはヘルパー歴3年。家族が外出中のため、デイサービスセンターから帰宅後をお世話。排せつ介助を済ませ、楽しく会話。



【昼12：00】ほっと一息の昼食
みんな集まる時間がなかなかとれないため、昼食時間は貴重なミーティングタイム。午前中に巡回した時の様子をそれぞれ報告し合う。



【午前11：15】浴槽で入浴の補助
竹原笑子さん（ヘルパー歴9年）・赤石康子さん（ヘルパー歴5か月）。入浴介護は2人がかり。体と頭を洗い浴槽へ。ずっと話しかけながら。

農業委員会だより

農作業標準賃金のお知らせ

平成12年度農作業標準賃金が決定しました。頼む人も頼まれる人も、標準額を守った明るい雇用関係を結び、農業経営の安定に努めましょう。

◆今年度のポイント◆　昨年度に続き景気状況をふまえ、据え置きとなりましたが、「背負動散」と「サブソイラー」が追加になりました

問合せ　☎672-2111　内線341～343　有線01-8832

◆機械の部

作業種別	基準	標準額（円）	摘要
マニアスプレッタ	10アール当たり	4,500	積込散布のみ、1.5tを基準　運搬費は実費
ブロードキャスター	〃	1回 700 2回 1,000 3回 1,300	
トラクター 水田 耕起	〃	4,500	
トラクター 水田 整地	〃	6,000	植え付け可能まで
トラクター 畑 耕起	〃	5,000	1回起こし
田植 育苗	1箱	うるち／700 もち／710	苗のみの販売価格（稚苗） ハウス渡し
田植 田植機	10アール当たり	5,600	側条施肥（そくじょうせひ）　7,000円
機械草刈	1時間	2,000	水田畦畔（けいはん）を基準とする
背負動散	〃	2,000	
バインダー	10アール当たり	7,500	結束ヒモ付とする
ハーベスター	〃	7,500	
コンバイン	10アール当たり 麦	13,500	ドリルは種
コンバイン	10アール当たり 麦	10,000	立毛間は種
コンバイン	10アール当たり 稲	17,500	湿田倒伏の場合話し合いにより20%以内で割増することができる。
コンバイン	10アール当たり 稲	20,500	（結束ヒモ付）
乾燥・調製（もみすりも含む）30kg	補助乾燥（水分18%未満）	600	
乾燥・調製（もみすりも含む）30kg	生籾（水分25%未満）	800	水分25%以上については当事者間で協議のこと
乾燥・調製（もみすりも含む）30kg	生麦	730	
けいはん塗り	1m当たり	60	
溝切り	転作田10アール当たり	2,500	
サブソイラー	10アール当たり	3,000	

◆人力の部

作業種別	基準	標準額（円）	超過額（円）
水田作業一般	1時間	750	900
果樹 剪定	〃	1,400	
果樹 その他	〃	625	700
果樹 畑作業	〃	625	700
臨時オペレーター コンバイン	〃	1,400	
臨時オペレーター トラクター	〃	1,300	
臨時オペレーター 薬剤散布（果樹）	〃	1,400	
一般 きんたけ作業	〃	625	
一般 施設園芸作業	〃	625	

留意事項

■作業時間・休憩時間
▼四月から八月　午前七時から午後六時まで（午前、午後三十分休憩、昼休み二時間）
▼九月から三月　午前七時から午後五時まで（午前、午後三十分休憩、昼休み一時間）

■この賃金表の超過額は、実働八時間を超えて働いたときの一時間あたりの金額です。

■「マカナイ」は「コビル」だけにしてください。

■各種の機械利用で、未整理ほ場や稲麦が倒伏している場合、技術を要する作業料金は割増することができますが、金額については当事者間の話し合いで決めてください。

■この表以外の作業については、当事者間で定めてください。

■賃金表が必要な人は農業委員会まで





羽沢節子さんの講演は参考になることばかりでした

積極的な情報交換 結婚相談員研修会

結婚相談員など約七十人が参加し、一月二十八日紫波稗貫地方結婚相談員研修交流会が、ナックスホールで開催されました。羽沢節子さん（前安代町結婚相談所所長）の経験談を交えた講演は参加者の共感を呼び、その後積極的な情報交換も行われました。

また二月八日、紫波稗貫ふるさと協議会では、宮城県石越町の登米地域後継者結婚推進協議会を訪ね結婚相談活動の先進地研修を行いました。これは紫波郡、稗貫郡の四町が広域的に後継者確保を進めようと活動しているもので、参加者は結婚相談活動や協議会の運営について研修しました。

農業者年金改正について意見を集約

農業者年金協議会代議員と農業委員二十二人は、二月十五日吉田一夫農業者年金相談員（県農業会議）を迎え農業者年金改正案について研修会を行いました。農業者年金は年金財政や農業の現状に合うよう、五年に一度見直しが行われていますが、平成十三年度が改正の年となっています。そこで政府の改革案を検討し、加入者や受給者が不利にならないよう意見を聞くために開催したものです。この意見は第八回農業委員会総会（二月二十一日開催）でまとめられ、岩手県農業会議に報告しました。

遠い地で働く人のために 農業者出稼就労先相談会

農業委員会では毎年農業者出稼就労先相談会を行っています。今年も町から四百十七人が二十七都道府県の百五十二事業所で働いています。出稼相談員など七人が二月十七日から三日間、出稼先を訪問しました。訪問先は兵庫県の神結酒造㈱と菊正宗酒造㈱、大阪府の西條酒造の三ヵ所で、仕事の内容や農業のことなどを懇談しました。

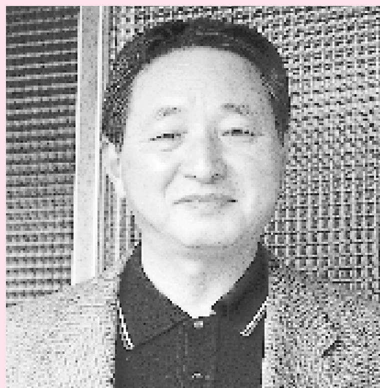
また三月三日には中央公民館で留守家族との懇談を行いました。就労先で撮った写真やビデオで仕事場の様子などを報告しました。離れて暮らす家族はやはり健康が一番心配なようで、食い入るように見ていたのが印象的でした。

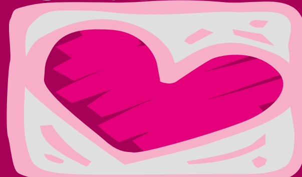

写真やビデオで元気に働く姿を見る家族の皆さん

県認定農業者のトップに 片寄の藤尾東泉（とうせん）さん就任

片寄の藤尾東泉さんが、このたび岩手県認定農業者組織連絡協議会の会長に就任されました。認定農業者とは、意欲と能力のある農業経営者として、地域農業振興の中心として活躍されている人たちで、町には百十二人います。

同協議会では農業の税制融資対策や農業後継者問題など農業施策の充実強化に関する要望書を県や国に提出するなどの活動を行っています。





まちで見つけた出来事を写真とともにご紹介します

スポーツを楽しんでほしいと笑顔で指導の伊達公子さん

【二月二十六日　キッズテニス教室開催】

紫波勤労者総合スポーツ施設（サン・ビレッジ紫波）の落成を記念し、二月二十六日世界大会などで活躍した伊達公子さんを迎え、キッズテニス教室が開催されました。

古館小学校二年の伊藤聡志くんのご両親は聡志君が伊達さんのテレビコマーシャルを見て「この人がくるんだね」と、とても楽しみにしていたことを話してくれました。またほとんどの子どもが初めてラケットを握ったということでしたが、「思ったよりかんたん」「ボールを当てるのが難しい。けど楽しいし、おもしろい」など感想も様々。伊達さんは「紫波の子どもたちはとても元気がいい。温泉も気持ちが良かったのでまた来たい」と話してくれました。

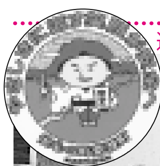
参加した子どもは全部で百八十五人、伊達さんを一目見ようと詰めかけた観客約六百人で会場は大いに盛り上がりました。

大好評だったテニス教室。終了後はサインぜめでした

より安全で住み良い町にシンボルマーク決定

【「安心のシンボルマーク・キャッチフレーズ」決定】

町防犯協会などが主催し公募していた「安心のシンボルマーク・キャッチフレーズ」がこのほど決定し、二月二十八日表彰式が行われました。今後このシンボルマークとキャッチフレーズは町の防犯活動や意識啓発などに活用されます。最優秀賞に選ばれたのはシンボルマークが菊池順さん（紫波高三年）とキャッチフレーズは佐藤和子さん（高水寺）の「やさしさに返す笑顔が安全へ」。





選ばれたシンボルマークとキャッチフレーズ

発足から六年目の勲章婦人たちの頑張り評価

【婦人グループ　農産園芸局長賞受賞】

佐比内の「ふる里レストラン　ぶどうの樹」は農山漁村生活の充実と開発に優れた実績もつ婦人グループに贈られる農産園芸局長賞を受賞しました。このほど中田寛子会長と柏原久子副会長が受賞報告のため町長室を訪れました。「ぶどうの樹」は平成七年一月に発足。地域への広がりや経済効果という点でも高い評価を受けたものです。中田会長は「町民をはじめ利用いただいた皆さんのおかげ。たくさんの人のご意見や感謝の声などが励みになりました」と受賞の喜びを話していました。

メダルは頑張りのしるし 小中学生二十二人を顕彰

【三月十四日　児童・生徒顕彰メダル授与式】

平成十一年度中、大会やコンクールなどで優秀な成績をおさめた児童・生徒を顕彰するため、三月十四日中央公民館で紫波町児童・生徒顕彰メダル授与式が行われました。高橋教育長は「メダルは頑張りのしるし、これからも頑張って」とあいさつしました。

顕彰を受けたのは、それぞれ県規模以上の大会で活躍した次の二十二人です。（敬称略）

星川早紀、北田唯（古館小）／工藤加奈恵（長岡小）／高橋文、加藤僚、澤口かえで、松本秀人、小塚康章、大越智、福田千尋、藤原優介、西村侑子（紫波一中）／沼田夏希、本間仁子、阿部真理子、川村華恵、川村結花、阿部央、北田詩織（紫波二中）／中野聡子、畠山優夏子、杉浦望（紫波三中）



初の全国大会出場決定 古館小スポーツ少年団

【三月二十四日　藤原町長へ全国大会出場報告】



古館バスケットボールスポーツ少年団では県大会を勝ち抜き、全国大会に出場することになり、三月二十四日報告のため藤原町長を訪問しました。結成から八年目、初の全国大会出場に、キャプテンの北田翔さんは「力を出し切り、精いっぱいプレーをしたい」と力強く抱負を述べました。

小さな手から小さな稚魚放流 どちらも大きく育ってほしい

【三月十六日　保育所・幼稚園児によるサケの稚魚放流】

滝名川漁業組合（佐々木嘉一郎組合長）は三月十六日志和橋付近（上平沢）でサケの稚魚約三万匹を放流しました。当日は志和保育所、あづま幼稚園、水分児童館の子どもたちも集まり、「元気で帰ってきてね」と声をかけていました。



響く音色に手拍子 出前コンサート

【三月十九日　町民バンドがにいやま荘を訪問】

結成一年を迎える紫波町民バンド（阿部俊博代表）は三月十九日にいやま荘を訪問し、民謡や唱歌、銭形平次のテーマ曲などの演奏を行いました。約五十人が、珍しい楽器の音色に耳を傾け、手拍子をしたり一緒に口ずさんだりして楽しみました。紫波町民バンドでは、町民の皆さんに広く音楽を楽しんでもらおうと、今後一周年記念コンサートや地区公民館を会場に「出前コンサート」を行う予定です。

百歳おめでとう ずっとお元気で

【三月三日　高橋末治さん百歳のお祝い】

高橋末治さん（南日詰）が百歳を迎え、三月三日親族などが集まった祝う席で、藤原町長からお祝いの記念品が贈られました。若いころは大工の棟梁（とうりょう）として働き、九十歳で初めては医者に行ったというとてもお元気な高橋さん。町内では二番目の高齢者になります。



紫波文学館

胡堂の贈りもの



歴史に残る「銭形平次」誕生秘話



胡堂が報知新聞社の記者をしていた昭和６年の春、「月刊雑誌を創刊する。初号から岡本綺堂の半七捕物帳のようなものを書いてくれないか」と、旧知の出版社編集長から原稿依頼がありました。「同じようにはできないが、私なりのものを書こう」と簡単に引き受けたのは、胡堂49歳のことです。

胡堂の頭に浮かんだのは、「明るく楽しく、後味の良い捕物小説。読者に悪を憎むだけではなく、さらに人を愛する尊さと人を許すことの美しさを感じてほしい」ということでした。そのころの捕物小説は、なんでも罰する殺ばつとした暗いものが多かったからです。

こうして世に送り出されたのが『銭形平次捕物控』。読後にホッとできる人間味にあふれた「目明かし“平次”」が活躍していました。

（野村胡堂・あらえびす記念館　石川一子）

紫波投稿文芸館　連載小説

鉈（なた）の黒岩

紫波ネット宛に届けられたのは郷土力士「黒岩川右衛門」を主人公にした小説。作者は盛岡市に住む遠山英志さんで、長年にわたる調査・研究のまとめともいえるものでした。郷土の隠れた偉人を知るためにもその力作をご紹介します。

「鉈の黒岩」連載にあたって

遠山英志

近年、大相撲人気が低迷しているのは、勝ち星だけを目当てにした注文相撲が目立つようになったからではないでしょうか。勝率が高くても、はたきやいなしを多用するような戦い方では観客の心の浄化に結びつけるのは無理なことです。そのような力士はたいした人気を得られないまま、衰退の道をたどることになります。そうした意味においても、小柄な体に熱い闘志をみなぎらせ相撲を取った江戸時代の郷土力士、黒岩の戦い方が大相撲人気回復への示唆ともいえます。

江戸時代、相撲の興行は野外で行われ、晴天でなければできませんでした。その相撲が遊里や芝居と並び、庶民の三代娯楽に昇格しつつある時に登場した力士が黒岩でした。彼は当初、挫折を余儀なくされましたが、努力のかいあり、やがて鉈の開祖として唯一無二の存在になりました。悔しさが成長のバネとなったことは間違いありません。彼の見せてくれた相撲は勝っても負けても価値を持つもので、観客を元気づけました。

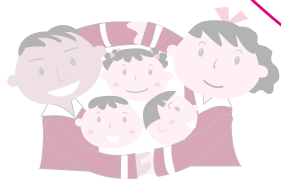
ところで、どんな世にも職業人と素人との違いがあります。草相撲の横綱でも、職業相撲ではせいぜい幕下格です。江戸から姿を消した黒岩は、横手における興行で寄せ手をねじ伏せました。しかし適応の態勢は整えていても、自分の意志とは無関係に問題の起こるのが私共の現実。黒岩が寄せ手の理不尽な要求である籾飯（もみ）の食い比べに応じたのは、自分のことは自分で処理し、絶対に他人に迷惑をかけない姿勢を命をかけてまで貫き通そうとしたのではないでしょうか。

本稿の骨子はかつて新人物往来社「歴史読本」で発表した黒岩の伝記です。今回の小説化にあたっては全面的にそれを改稿しました。本稿の成るまでに多くの方々のご好意とご教示を得ることができたことは、心うれしい限りです。江戸時代のことでもあり、黒岩の写真はありませんが、幸運にも彼の風貌を直接的に推定する方法があります。残存する相撲画にはその横顔と体型が良く表れています。今回は勝川春章の画を揚げておきます。



黒岩の生き方は唯一のものであり、決して消えぬ完全さを記憶に結晶させています。江戸の観客を熱狂させた黒岩の戦法は、付け焼き刃なものではありません。借り物でなく、自分の存在の根から掘り出したものです。黒岩の生家が私のそれと隣であったことに何かの因縁を感じない訳にはいきません。私の脳裏の奥底から、黒岩が運んできたクツ脱ぎ石に乗って遊んだ思い出が甦（よみがえ）ってきます。

次回から十一回にわたり、郷土が生んだ力士、黒岩川右衛門の生涯を描いた小説を掲載していきます。作者の遠山英志氏は紫波町遠山出身で、現在は仕事の関係で盛岡にお住まいです。



子育てで困っていることありませんか？

紫波町子育て支援センターが古館保育所に設置

子育て特集

古館保育所

子どもたちの明日を思い広々としたスペース確保

昨年九月に着工した古館保育所新築工事が竣工し、定員も今までの倍の百二十人になりました。新しい保育所は延べ床面積約千平方メートル、総工事費二億七八六七万円、年金積立金還元融資などにより建設したものです。六つの保育室や明るく広々とした遊戯室、一時的に保育を必要とする場合に利用できる一時保育室も設けられました。

育児相談から交流まで新しい保育の形がここに

また今回を機に、町内初の**子育て支援センター**が設置され、乳幼児を持つ親子を対象に、地域で安心して子育てができるよう育児相談などが行われます。一人で悩まず子供と一緒に来所してみては。

こんなことで悩んでいませんか？

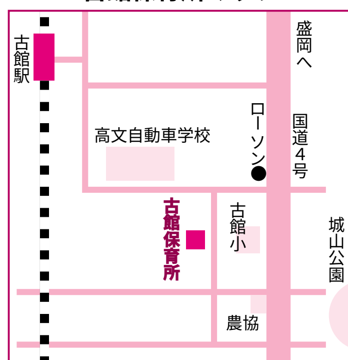
●近くに一緒に遊ぶ友だちがいない●遊ばせ方が分からない●子育てについての相談相手がいない●子育て・孫育ての悩み

◆電話相談（秘密厳守、ファックスも可）
☎671-2200
月曜～金曜　午前9:00～4:30

◆来所相談
月曜～金曜　午前9:00～11:00
午後1:00～４:00

◆問合せ
古館保育所☎676-6048

古館保育所マップ



ベビーシート・レンタル チャイルドシート購入補助

２月１日から始まったベビーシートのレンタルは３月31日までに35台。また同じくスタートしたチャイルドシートの補助金制度（１万円以上のチャイルドシートを購入した場合、5000円補助）は50人が利用しています。道路交通法で義務化されているだけでなく、子どもの命を守る上でもこの制度をご利用ください。なお補助金制度利用の場合は購入時の領収書（チャイルドシート代であることが表示されていない領収書・レシートの場合は保証書か取扱説明書も）、印鑑、振込口座の通帳、保険証を持参してください。

もっと学校を楽しく！ 学校支援隊を募集

子どもたちに花の手入れや昔の暮らし、そば打ち、リンゴの育て方など、楽しい学校のお手伝いがしたいという人を募集しています。特技がなくても興味ある人ならどなたでもご参加ください。
問合せ　社会教育課(担当：藤尾) ☎672-3362

すべての保育所

保育所体験が児童館も含めて拡大に

中央保育所で開かれていた保育所体験の「すくすく広場」が、今年度はすべての保育所と児童館で行われます。特別な用意は何もいりません。子どもと遊びやすい服装で来所してください。

◆開設日　毎月第一・第三水曜日
◆時　間　午前九時～十一時
◆問合せ　最寄りの保育所へ

中央・古館保育所

これからパパ・ママになる人へ

これからおとうさん、おかあさんになるという人のために、中央・古館の両保育所で赤ちゃんの様子を見学することができるようになりました。

◆開設日など　随時
◆問合せ　中央保育所☎６７２-３６８０　古館保育所☎６７６-６０４８

志和公民館

仲間づくりの場・「にこにこ広場」

志和公民館では月に一度、幼稚園・保育所に入る前の子どもと親を対象に集いの広場を開催します。第一回は人形劇団こぐま座公演などが行われます。

◆期　日（第一回）　四月二十日（木）
※毎月第三木曜
◆時　間　午前九時三十分～十一時三十分
◆場　所　志和公民館
◆問合せ　社会教育課☎６７２-３３６２

総務庁統計局からのお知らせ

平成１２年は国勢調査が行われる年です

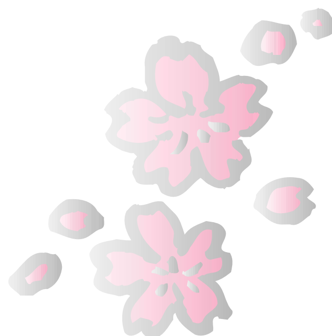
※国勢調査に関しては総務庁統計局・統計センターのホームページでご覧になれます
URL　http://www.stat.go.jp/21.htm



INFORMATION

善意の窓 やさしい心　ありがとう

◆紫波二中創立40周年記念事業協賛会（会長　根水康博さん）はグランドピアノ１台と演壇１式、折りたたみいす300脚を町立紫波第二中学校へ
◆町立中央保育所父母の会（代表　川村光英さん）はカメラ１台を中央保育所に
◆平成11年度志和保育所父母の会（会長　小田島護さん）は折りたたみピクニックテーブル１台を志和保育所に
◆町立片寄保育所父母の会（会長　冨岡広利さん）はこいのぼり１セットを片寄保育所に
◆匿名希望の人は2000円を町に
◆紫波遊技業組合（組合長　金泰珍さん）は防犯灯（街路灯）10基を町に
◆（有）佐々木製作所（代表取締役　佐々木俊彦さん）は防犯灯（街路灯）２基を町に
◆（株）十文字組（代表取締役　高橋伸幸さん）は防犯灯（街路灯）１基を町に
◆ウラタ自動車（代表　浦田保雄さん）は防犯灯（街路灯）１基を町に



長い間ご苦労さまでした
【役場を退職した皆さん】

３月31日付け
（　）内は在職年数、最終職名

●村松弘實さん（40年６カ月　総務課長）
●玉山貞夫さん（39年６カ月　町民課長）
●菊池一政さん（39年６カ月　農業委員会事務局長）
●菊池清さん（29年　下水道課長）
●阿部好隆さん（30年９カ月　議会事務局長）
●阿部英夫さん（39年　社会教育課主幹）
●佐藤幸子さん（37年　町民課主幹）
●大沼孝さん（37年　会計課課長補佐）
●熊谷十三男さん（33年８カ月　総務課自動車運転手）
●石川康さん（２年　生活環境課主査）

野村胡堂 あらえびす記念館 PRESENTS

中国の名曲から映画「ラストエンペラー」挿入曲、そして日本の童謡まで

中国琵琶　楊宝元　リサイタル

～中国琵琶と胡弓の奏でる夕べ～

　アジアを代表する中国琵琶奏者の楊宝元さんのリサイタルが野村胡堂・あらえびす記念館で開かれます。ゲストは夫人であり世界各地で活躍する胡弓奏者の姜建華さん。日本語もお上手な二人のお話と演奏が楽しめるリサイタルに皆さんでお出でください。

◆日時５月13日（土）　午後６時30分開場　７時開演◆入場料　2000**円　◆チケット　野村胡堂・あらえびす記念館で発売中　◆問合せ　野村胡堂・あらえびす記念館☎**676-6896

デュオ	金蛇狂舞
デュオ	ラストエンペラーのテーマ
琵　琶	陽春白雪
琵　琶	十面埋伏
デュオ	さくらさくら
デュオ	村祭り
デュオ	ハンガリー舞曲第5番ほか

◆プロフィール◆
楊宝元（ヤンボウユアン）：世界的にも知られる天才中国琵琶奏者。1987年の映画「ラストエンペラー」では独奏を担当。1991～92年には團伊玖磨氏の作曲・指揮による「万里の長城」の演奏など世界で活躍。その躍動感の中に繊細さを併せ持つ演奏は多くのファンに支持されている。





◆プロフィール◆
姜建華（ジャンジェンホア）：10歳から胡弓（二胡）を学び13歳からは海外音楽活動を開始。彼女の演奏に感動した小澤征爾氏との共演も多く、アメリカや日本で高い評価を得ている。またクラシック以外でも沖縄音楽のりんけんバンドや葉加瀬太郎などと共演。幅広い活動を行っている。

NEWS BOAD

お知らせ掲示板

INFORMATION

桜の季節といえば 楽しい城山桜まつり

今年の第29回城山桜まつりは従来と異なり13日間開催されます。ただし主なイベントは23日に行われます。なお当日は駐車場が大変混雑しますのでご注意ください。

▶**期間**　４月23日（日）～５月５日（金）

▶問合せ　紫波町観光協会(企画課内) ☎672-2111　内線325　有線01-8891

城山桜まつり 23日のイベント

（荒天の場合は一部29日に延期します）

歌謡のど自慢　午前 9:00～午前10:30
民謡王座決定戦 午前10:30～ 昼 12:00
バルーンアート 午前11:00～ 昼 12:00
(風船を楽しむイベントです)
日詰小学校
シャイニイ・メイツ演奏 昼 12:00～午後12:30
子どもゲーム大会 午後 1:00～午後 1:30
もちまき大会　午後 2:00～午後 2:15
（子ども釣り大会は29日に大坪川で開催）

INFORMATION

入院患者の皆さんを 助けるボランティア

県立紫波病院ではボランティアを募集しています。

▶日時と内容　❶毎週火曜　午前9:00～12:00（火曜が祝日の場合は水曜）内容：リネン交換、環境整備　❷毎週水・木・金曜　午前9:00～12:00　内容：入浴の世話、環境整備



▶対象　15歳以上の男女で精神的・肉体的に健康な人

▶応募先・問合せ　県立紫波病院看護事務室☎676-3311

INFORMATION

土地売買の際は地価 公示の価格を目安に

３月24日に国土庁から平成12年の地価公示が発表されました。地価公示は、都市計画区域内の各地域で標準的な使われ方をしている土地（これを標準地といいます）を選び、その適正な価格を公表し、土地売買の際の目安にするものです。

地価公示の関係書面は、標準地のある役場に備え付けられていて、だれでも閲覧できます。

▶問合せ　企画課☎672-2111　内線324　有線01-8891

INFORMATION

グラウンドゴルフ月例会 今年からは協会が主催に

今年もグラウンドゴルフ月例会が始まりますが、主催団体の変更にともない参加方法が変わります。今年度からは紫波町グラウンド・ゴルフ協会が主催となり、参加希望者は協会に入会することが条件になります。申込・会費納入は従来どおり総合体育館が窓口になります。

▶入会法　❶全日本・岩手県・紫波町協会加入の場合、会費2000円　❷紫波町協会のみ加入の場合、会費1000円（ただし紫波町協会のみの加入の場合、県大会、全国大会、ブロック大会などには参加できません）

▶月例会開催期日　次のとおりです

5月	19日（金）	27日（土）
6月	13日（火）	
7月	11日（火）	29日（土）
8月	8日（火）	26日（土）
9月	5日（火）	30日（土）
10月	10日（火）	17日（火）

▶申込・問合せ　総合体育館☎676-2650　有線01-3151

INFORMATION

自衛隊で一般・技術の 幹部候補生を募集中

自衛隊では幹部候補生の募集を行っています。

▶**募集種目**　一般・技術幹部候補生

▶**応募資格**　22歳以上26歳未満（昭和50年４月２日から54年４月１日に生まれた人）で大学卒業程度の学力のある人か、大学院修士課程修了者（修了見込みを含む）については28歳未満

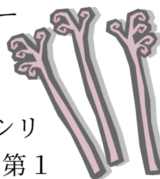
▶**受付期限**　５月12日（金）まで

▶**１次試験日時**　５月27日（土）～５月28日（日）

▶問合せ　自衛隊盛岡募集案内所☎641-5191　生活環境課☎672-2111　内線153　有線01-8901

INFORMATION

山菜採りや料理に挑戦 森林文化教室にご参加を



県林業技術センターと（財）県林業労働対策基金が主催する森林文化教室が３回シリーズで開かれます。第１回目は湯田町在住・山菜料理の達人・小林輝子さん指導による「山菜教室」です。

▶テーマ　森林食文化「ザ・山菜」――採る、調理する、食べる――

▶期日　５月25日（木）

▶内容　午前10:00～12:00　実習（楽しい山菜採取）／午後１:00～４:30　実習（山菜クッキング）

▶参集場所　矢巾町南矢巾　矢巾町保健福祉交流センター

▶募集定員　30人（先着順、性別不問）

▶参加費　1000円（昼食は別途500円で受付）

▶申込締切　５月22日（月）まで

▶申込・問合せ　岩手県林業技術センター企画指導部☎697-1536　内線130



まちの匠たち TAKUMI

昔ながらの良さを忠実に再現
時が経つほど美しさを増す箪笥を作る職人

早さと便利さを追求する現代に、江戸から明治の伝統家具を忠実に再現する工房が山屋にある。それが木戸夫妻が営む「箪笥工房はこや」だ。ここでは、船箪笥、車箪笥、階段箪笥などの家具を素材から塗りまですべての工程において忠実に再現している。

明治時代の箪笥は、作られた時からどんどん美しさを増していくという。塗りの漆は約半年後にやっと艶をだしはじめ、ケヤキも五百年間はどんどん強度を増すという話に驚かされた。それに比べ合板でできた家具は、完成の瞬間が一番美しく、後はどんどん寂しくなる。その違いについて尋ねると明快で単純な答えが返ってきた。「手間をかける、時間をかける、良質の天然素材を使う。ただそれだけのこと」。

最近では関東や関西からの注文も増えている。「忙しい」で物事が片づけられる現代、時間をかけて作られた本物の良さを教えてくれた。



町長メッセージ

別れと出会い――新たな年度を新たな決意で

別れは人生の随所にありますが、特に三月は卒業、退職など、その感慨をひとしお強く感じる季節でもあります。

つい先ごろ、長い間地方公務員として職務に誠心誠意取り組まれてきた十名の職員が退職されました。大変ご苦労さまでした。今までの経験を生かし地域でのご活躍を期待するとともに、末永い健康をお祈りいたします。

さて四月は出会いの時、出会いによる新たな交流が期待されます。当町でも今年百二名の人事異動を発表しました。私は柔軟な発想と幅広い職員養成のために、人事異動が大切だと考えています。今年度は、農林水産省をはじめとする外部組織との相互交流の輪を拡大させました。農林水産省や岩手県とは産業全般について、県警本部とは安全なまちづくり、矢巾町とは広域行政の相互理解とそれぞれに目的を定めた人材交流により職員養成と町の発展を目指します。

胸を躍らせて入学し多くの友人との出会い、就職や転勤による同僚との出会い、転居による隣人との出会い、それぞれの出会いの中で交流が広がることと思います。またその出会いが思いがけず一生の長い付き合いになるかもしれません。出会いを大切にして、良き友人と巡り会い、豊かな人生をおう歌していただきたいものです。

新年度も多くの町民の皆さまとの出会いを大切に頑張りたいと考えております。

（藤原　孝）

編集後記

◆月２回発行の「紫波ネット」になり１年が経過しました。４月からは慶弔や文芸、そのほか町からのお知らせを「お知らせ版」にまとめて掲載することになりました。地域と町の情報を皆さんに伝え、さらに充実した誌面作りを心がけていきます。今年度も１年よろしくお願いします　（佐藤）

【ご意見・情報は】

企画課「紫波ネット」情報係まで
〒028-3390　岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1
FAX 672-2311

【ホームページアドレス】
http://www.town.shiwa.iwate.jp
【ホームページアドレス】
info@town.shiwa.iwate.jp

【紫波ネット４月号】〈平成12年4月10日発行〉
発行◆紫波町
〒082-3390　岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1　☎672-2111
印刷／川嶋印刷株式会社